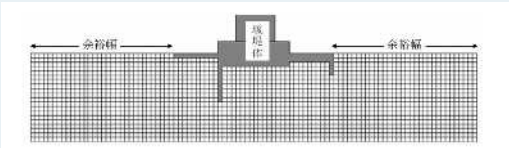
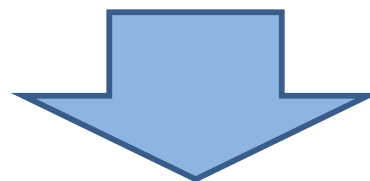


## 解析方法（案）

- 水みち等の位置や範囲、鋼矢板の有無や深度等の調査結果を踏まえて、漏水のメカニズムを仮定し、解析等によりこれを確認。
- 解析結果を踏まえて、本復旧に係る対策工法の検討に活用。併せて、漏水発生の原因を分析。

調査内容	漏水のメカニズム（仮定）	メカニズムを確認する解析方法等	備考
ボーリング調査により、岩盤の風化状況を確認	左岸地山岩盤の風化等により水みちが形成され、パイピングが発生	浸透路長によるパイピングの検討	
磁気探査や取壊し調査により、鋼矢板の有無・深度を確認	鋼矢板の下部で水みちが形成されパイピングが発生	有限要素法(FEM)など浸透解析を用いた漏水現象のシミュレーション 	現場における透水係数の測定(ボーリング孔又は試掘坑による揚水試験)等が困難な場合には、概略値や代替値を用いて実施



原因分析・本復旧に係る対策工法の検討に活用